

事故防止を誓う 虻田救難所出初式

1月6日虻田漁港荷さばき所で、新年恒例の日本水難救済会虻田救難所（高清水幸夫所長）の平成21年出初式が行われました。

長崎良夫監督官は「サミットの海上警備にあたっては、たいへんご苦勞様でした。今年も引き続き事故の無いよう海難防止に励んで欲しい」と訓示。

来賓挨拶の後最後に高清水幸夫所長が「海難事故防止のため所員一丸となって務めます」と答辞を行い、出初式を終了しました。



ほりつめた空気の中で開かれた
虻田救難所出初式

年末にしめ縄の寄贈 通所授産施設「あすなろ」のメンバー

12月26日、知的障害者通所授産施設「あすなろ」（木村芳秀施設長）の皆さんが、役場を訪れ、自作のしめ飾りを寄贈しました。

同施設では、しめ縄の製作、販売を毎年行ってきたいて、今年は100個製作し、完売しました。

当日は、製作に携わった利用者のメンバーが「がんばって作りました」という言葉と、いっしょに吉田副町長に手渡しました。

吉田副町長からは「ありがとうございます。玄関にかけるようにします」とお礼の言葉を述べました。



吉田副町長にしめ縄を渡す利用者の皆さん

○まわりのわだい○

美味しい物コンテスト 腕をふるった料理に審査員舌鼓をうつ

第5回洞爺美味しい物コンテスト（ピュアフーズとうや主催）が、1月21日洞爺総合センターで開かれました。

町内の主婦や高校生の手作りによる地場産品を使った料理44品が出品されました。

審査員は、美味しさに舌鼓をうちながら、つぶぞろいの作品に頭を悩ませていました。

入選作品は次のとおり

▽最優秀賞 ハスカップ&アロニアゼリー・堤敬子さん▽優秀賞 大根の醤油漬・大西マサ子さん▽準優秀賞 セルリー味噌



出品作の出来ばえを
審査する審査員ら

漬・宮内八千代さん/いもパウ
ンドケーキいもクリーム添え・
洞爺高校C▽残念賞 わらびの
醤油漬・大西シズ子さん

第2回わんぱくラリー ユニホックで寒さ吹きとばす

第2回わんぱくラリー（主催 教育委員会）が、1月8日母と子の館で開かれ、45人の児童が参加し、心地よい汗を流しました。

今回の種目は、ユニホックという室内で行うホッケー。

低学年、高学年各3チームが2コートに分かれて、総当たり戦を繰り広げました。

参加した子ども達は、寒さを吹きとばすように、体育館の中を元気にボールを追いかけて、走り回っていました。



ユニホックで寒さ吹きとばす